

重要目標	達成指標		基準値	目標値	戦略年度					総括
					2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	
重要目標	1 住み続けたいと思う市民の割合（定住意向）		79.7%	85.0%	79.4%	77.6%				・若者の転出超過傾向は続いており、人口社会増減率も基準値を下回った。
	2 人口社会増減率（純減数／期首人口）		△0.49%	△0.33%	△0.66%	△0.74%				
	3 若者（15歳～39歳）の転出超過数（転入者数－転出者数）		△1,101人 (H27～R1)	△528人 (R2～R6)	△268人	△287人				
	4 健康寿命	男性	76.94歳	77.50歳	78.35歳	78.08歳				
女性		81.48歳	82.00歳	81.54歳	81.25歳					
重要業績	評価指標		基準値	目標値	戦略年度					総括
					2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	
	基本目標1 若者・女性のふるさと氷見での定着と還流（Ｕターン）									
i 地方創生を支える人材・組織の育成										「おらっちゃん創生支援事業の取り組み件数」 コロナ禍により事業の実施を困難と感じる団体が増えたため伸び悩んでいる。
①ぶり奨学プログラム登録者のうちのＵターン者数		7人	36人／年間	7人	16人					
②親子地域産業体験に参加した人数		20人	120人	0人	0人					
③おらっちゃん創生支援事業の取り組み件数		10件	20件／年間	10件	14件					
ii 若者・女性の定着・Ｕターン支援										
①おらっちゃん創生支援事業のうち「価値提供型事業」に取り組んだ件数		6件	14件／年間	5件	8件				【基本目標2】 「SNS市公式アカウントフォロワー数」 令和2年度に開設した市公式LINEアカウントの登録者が増加している。	
②20代・30代の女性のＵターン者数		70人	80人／年間	71人	51人					
iii ふるさと氷見への郷土愛の育成										
①氷見が好きだと感じている市民の割合		82.6%	85.0%	83.4%	82.1%				「IJU応援センターを通して移住した人数」 新しい生活様式に慣れ始めた方が多く、地方への移住の関心が高まったことなどから、開設以来最高となった。	
②地域の行事に参加している児童・生徒の割合	小学生	74.2%	80.0%	72.4%	66.8%					
	中学生	70.2%	80.0%	65.3%	66.5%					
基本目標2 「里山、里海での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住（IJターン）と多様な交流の実現										「海外の友好都市との交流した人数」 中国浙江省寧海県及び台湾高雄市鼓山区との友好交流都市協定の締結、イベントの開催により大幅に目標値を上回っている。
i 氷見暮らしの魅力や充実した子育て・教育・福祉等の情報発信										
①市ホームページ及びIJU応援センターホームページのアクセス件数		173万件	190万件／年間	227万件	213万件					
②SNS市公式アカウントフォロワー数		1,550人	3,000人／年間	4,328人	10,645人					
ii 子育て世帯、起業人材、クリエイティブ人材などの移住・定住支援										
①IJU応援センターを通して移住した人数		25人	40人／年間	16人	38人					
iii 多様な関係人口の創出・拡大										
①氷見きときとファンクラブ会員数		－	2,500人	327人	856人					
iv スポーツ・芸術・文化等を通じた交流人口の拡大										
①主要なスポーツイベント参加者数		27,291人	27,400人／年間	4,876人	7,144人					
②新文化交流施設のイベント参加者数		－	64,000人／年間	－	－					
V 国際交流の推進										
①海外の友好都市との交流した人数		27人	100人／年間	6,725人	2,398人					
基本目標3 安全で安心して暮らせる基盤の充実										【基本目標3】 「SNSを活用した情報伝達システムの利用者数」 市公式LINEアカウントによる積極的な防災情報発信により利用者が順調に増加している。 「防災重点ため池の改修（県）実施箇所数」や「河川浚渫（県・市）実施箇所数」 計画に沿って対策が進んでいる。
i 災害に強い社会の実現										
①防災士の資格を持つ人数		79人	204人	104人	125人					
②SNSを活用した情報伝達システムの利用者数		0人	3,000人	1,645人	5,211人					
③急傾斜地崩壊防止対策（県・市）の実施済箇所数		159箇所	162箇所	160箇所	161箇所					
④防災重点ため池の改修（県）実施箇所数		6箇所	14箇所	11箇所	14箇所					
⑤河川浚渫（県・市）実施箇所数		6箇所	48箇所	20箇所	27箇所					
ii 地域医療の充実										
①市内の医療機関の数		51医療機関	51医療機関	49医療機関	49医療機関					
②救急覚知から現場到着までに要する時間		8.6分	7.0分	8.3分	7.6分					
iii 地域包括ケアシステムの推進										
①福祉相談窓口の開設地区数		9地区	21地区	9地区	14地区					
iv 安全で安心な日常生活が送れるまちの実現										
①鳥獣による人身及び物損被害の発生件数		4件	0件／年間	0件	0件					
②防犯カメラの設置補助件数		0件	25件	8件	12件					

基本戦略Ⅰ（住みたい街）

重要業績

評価指標	基準値	目標値	戦略年度					総括
			2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	
基本目標 4 持続可能な地域社会の体制・仕組みの確立								【基本目標 4】 「地域づくり協議会の設置数」 持続可能な地域づくりを行っていくという地域住民の当事者意識の醸成が進んだことで増加した。
i 小規模多機能自治の基盤整備と地域内分権の推進								
①地域づくり協議会の設置数	7地区	21地区	8地区	12地区				
ii 多様性を認め合える社会づくり								
①平等と多様性が尊重されていると思う市民の割合	40.5%	60.0%	45.4%	44.5%				
iii 交通弱者の移動手段の確保								
①市内のどこかへ行きたいときに、利用できる移動手段があると思う市民の割合	85.0%	90.0%	87.7%	87.4%				
iv Society 5.0の実現に向けた技術の活用								
①Society 5.0の実現に向けた技術を活用した取組件数	0件	4件	1件	1件				
基本目標 5 いきいきと暮らし続けるための健康的自立								【基本目標 5】 「住民主体の通いの場の実施箇所数」 体操の効果について地域の関心が高く、年々増加していたが、コロナ禍により活動自粛傾向が続いている。
i 市民の健康意識の醸成								
①特定健診の受診率	46.0%	60.0%	42.4%	47.9%				
ii 良い生活習慣の定着による健康増進プログラムの推進								
①メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	34.8%	32.7%	36.0%	37.1%				
iii 地域づくりによる介護予防対策								
①住民主体の通いの場の実施箇所数	80箇所	140箇所	94箇所	95箇所				

第2期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について

	重要目標	達成指標		基準値	目標値	戦略年度					総括	
						2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)		
		1 納税義務者 1 人当たり所得		260万円	270万円	266万円	271万円				・ コロナ禍により各目標が伸び悩んでいるが、令和3年度はやや回復傾向がみられた。	
		2 雇用保険適用事業所の被保険者数		8,833人	9,000人	8,558人	8,710人					
		3 新規求人数	総数	4,922人	5,000人	3,209人	3,847人					
			フルタイムのみ	2,577人	2,600人	1,611人	2,088人					
		4 観光消費額		168億円	186億円	110億円	114億円					
	重要業績	評価指標		基準値	目標値	戦略年度					総括	
						2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)		
		基本目標 1 氷見市内での経済活動の規模拡大										
		i 地域内消費の促進										【基本目標 1】 「地域内商品券の販売額」 子育て、移住に関する市の施策やマイナンバー取得応援キャンペーンでの利用、ひみPayの販促キャンペーンなどにより目標値を上回った。 「ビジネスサポートセンターの相談件数」 認知が広まったことに加え、定期的な利用者が増えたことにより、増加している。
		①地域内商品券販売額		4,000万円	5,000万円／年間	7,237万円	6,241万円					
②日頃から氷見市の産品を積極的に買っている市民の割合		56.6%	60.0%	61.5%	60.2%							
ii まちなかの賑わいの創出												
①中心市街地への出店件数(累計)		3件	33件	8件	16件							
iii 創業（事業承継）の支援												
①創業件数（事業承継も含む・累計）		10件	70件	17件	28件							
iv 既存企業の競争力強化												
①ビジネスサポートセンターの相談件数		0件	1,000件／年間	850件	1,231件							
基本目標 2 氷見ならではの魅力・強みを生かした観光振興										【基本目標 2】 「観光入込客数」 氷見市プレミアム宿泊券や富山県宿泊キャンペーンの影響により宿泊者数は増加したが、コロナ禍による自粛要請の影響から日帰り客の減少が著しい。 「平均滞在時間」 旅行の目的地が限定的になり、マイクロツーリズムの傾向がみられたことから増加している。		
i 地域資源を活かした滞在型観光の推進												
①観光入込客数		217万人	240万人／年間	127万人	124万人							
②平均滞在時間		3時間21分	3時間48分	2時間59分	3時間18分							
ii インバウンドの誘致												
①外国人宿泊客数		7,017人	15,000人／年間	461人	1人							
基本目標 3 氷見の海・里・山の幸の魅力や、特性を活かした産業振興										【基本目標 3】 「学校給食等での氷見産食材の使用割合」 コーディネート事業の実施により増加した。 「氷見牛の飼育頭数」 畜産農家の廃業により減少した。		
i 新たな食の氷見ブランドの確立												
①都市部で開催する氷見の食に関するイベントの参加者数		0人	2,200人	0人	935人							
②自然栽培・有機栽培を行う農業者数		36人	40人	33人	29人							
ii 既存のブランドの販路拡大												
①学校給食等での氷見産食材の使用割合		5%	30%	11.6%	18.0%							
②氷見牛の飼育頭数		715頭	860頭	673頭	688頭							
③地場産木材の生産量		16,747㎡	25,000㎡	12,100㎡	16,703㎡							
④地域ブランド調査における魅力度の順位		177位	100位	163位	237位							
iii 第一次産業の 6 次産業化の推進												
① 6 次産業化の取り組みによる新商品開発数		8品	12品	8品	8品							
基本目標 4 産業人材の育成・確保											【基本目標 4】 「事業承継件数」 コロナ禍による経済状況の悪化も影響し、事業継承に関する相談数自体が伸び悩んでいる。 【基本目標 5】 「市内へ進出した企業または研究機関等の件数」 コロナ禍により企業が進出しにくい経済環境が続いており、成果が出ていない。	
i 農林水産業・商工業の担い手の育成・確保												
①集落営農組合組織化件数（任意の組合を含む）		42団体	50団体	42団体	42団体							
②事業承継件数(累計)		1件	6件	1件	2件							
③リカレント教育を受けた女性の数（累計）		0人	3,200人	172人	382人							
ii 働きがいを感じることができる魅力的なしごとの創出												
①従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備に取り組む企業の数		77社	80社	83社	77社							
②高齢者の就職率		39%	42%	31.0%	36.9%							
③障がい者の就業状況		78.2%	80.0%	70.1%	69.0%							
④外国人の日本語教室への参加者数		94人	95人／年間	65人	96人							
基本目標 5 企業誘致の推進												
i 地元雇用に結びつく優良企業や研究機関等の誘致												
①市内へ進出した企業または研究機関等の件数		0件	5件	0件	0件							

第2期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について

重 要 目 標	達成指標		基準値	目標値	戦略年度					総括	
					2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)		
	1 婚姻数		141件	150件	127件	123件					
	2 出生数		189人	230人	206人	189人					
	3 子ども女性比		0.165	0.202	0.169	0.163				コロナ禍により婚姻数が減少しており、それが出生数や子ども女性比の減につながったと考えられる。	
基本戦略Ⅲ（育てたい街）	評価指標		基準値	目標値	戦略年度					総括	
					2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)		
	基本目標 1 結婚の希望をかなえ、子どもを中心として多様な家族が幸せを実感できる生活の実現										【基本目標 1】
	i 人生設計を考える機会の増加										「おせっかいさんによる引き合わせ件数」 コロナ禍により情報交換会の中止や積極的な引き合わせが難しくなったことにより目標値をやや下回った。
	①将来の夢や目標を持っている中学生の割合		71.1%	72.5%	67.2%	72.9%					
	②自分の人生設計を持っている高校生の割合		－	75.0%	－	36.5%					
	ii 出合いの場の創出、地域の応援・支援による婚姻率の向上										
	①おせっかいさんによる引き合わせ件数		22件	40件／年間	41件	36件					
	基本目標 2 妊娠・出産に関わる負担の軽減										
	i 安心して出産できる環境の整備										「不妊治療に係る助成申請件数」 令和2年度から一般不妊治療への助成を開始したことにより増加した。
	①市内分娩施設数		1施設	1施設	1施設	1施設					
	ii 妊娠・出産に関わる経済的・精神的負担の軽減										
	①不妊治療に係る助成申請件数		40件	55件／年間	61件	63件					
	iii 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の推進										
	①出産前後の相談件数		1,350件	1,500件／年間	1,288件	1,397件					
	基本目標 3 多様な家族に対するきめ細やかな支援、子どもの健やかな成長を育む保育の充実										【基本目標 3】
	i 子育てに関わる経済的・精神的負担の軽減										「子育てや教育に不安を感じた時身近に相談できる人がいる市民の割合」 コロナ禍により交流機会が減り、減少した。
	①子育てや教育に不安を感じた時身近に相談できる人がいる市民の割合		76.1%	80.0%	78.2%	73.5%					
	ii 子どもの生きる力を育成する保育・教育の充実										
	①待機児童数		0人	0人	0人	0人					
	基本目標 4 次代を担う子どもを育む学校教育の実現										
	i 教育に関わる経済的負担の軽減										
	①ぶり奨学プログラム登録者数		166人	350人	239人	271人				【基本目標 4】	
	ii 子どもの生きる力を育成する学校教育の充実										「ぶり奨学プログラム登録者数」 制度の周知が進み、一定数の登録があった。
	①学校が楽しいと思っている児童・生徒の割合		小学生	81.7%	90.0%	－	82.0%				
			中学生	87.0%	90.0%	－	80.3%				
	基本目標 5 仕事と家庭を両立しながら、子育てを楽しみと感じられる社会の実現										
	i 子育てと両立するワーク・ライフ・バランス（仕事と私生活の調和）の推進										
	①子育てと仕事が両立しやすい環境であると感じている市民の割合		58.0%	65.0%	64.2%	64.3%				【基本目標 5】 「子供が安心して遊べる環境であると感じる市民の割合」 朝日山公園や海浜植物園のリニューアルにより、目標値を上回った。	
	②仕事と子育ての両立ができていると思う市民の割合		69.4%	75.0%	66.4%	69.8%					
	ii 職場と子育て支援施設の連携										
	①市内保育所・認定こども園の延長保育実施率		80.0%	100%	80.0%	85.7%					
	iii 子どもが安心して遊び・学ぶことができる環境の整備										
	①子供が安心して遊べる環境であると感じる市民の割合		54.0%	60.0%	69.2%	64.8%					
	②海浜植物園の入園者数		45,000人	65,000人／年間	41,382人	74,302人					